

Domaine Boehler



# ドメーヌのルーツともいえる ブレル家にとって重要な畑 ブリュデルタール

DOMAINE BOEHLER

- ドメーヌ ブレル -

## グラン クリュ ブリュデルタール

モルスハイム村のグラン クリュ「ブリュデルタール」は、ブレル家が18世紀に取得した、ドメーヌのルーツともいえる重要な畑です。同じ村の他の場所とは明らかに異なる特別な区画として昔から認識されていました。現オーナーのジュリアン ブレルの生まれ年の1992年にグラン クリュに認定されています。ドイツ語で「Bruder (ブリュデル)」は兄弟、「Thal (タール)」は小さな渓谷で、「兄弟の渓谷」を意味しています。基層となる石灰岩によって、ワインに驚くほどの新鮮さが与えられるといいます。「ワインは長期熟成に耐え、しっかりとした酸が全体を支え、スパイシーな香りを備えているのが特徴です」とジュリアンは話してくれました。

現地視察で品質の高さに驚き、満場一致で入荷を決めた  
ゲヴェルツトラミネールが入荷致しました

ブリュデルタール グラン クリュ

ゲヴェルツトラミネール 2019

、新入荷、

Brudertal Grand Cru Gewürztraminer

表土はマールと石灰岩、下層土は石灰岩で構成された土壌、標高230~270m、南東向きの畑です。平均樹齢は30年、収量は20hL/haです。収穫は畑で丁寧に選別しながら手摘みで行います。発酵は野生酵母、温度コントロールしたステンレスタンクで行います。熟成は綺麗な澱と共に樽で約18ヶ月行います。程よいボリュームがあり、非常に洗練されたバランスの良い味わいに仕上がっています。余韻に心地よい苦みを感じられます。

【白・辛口】<Alc. 14.5%> 国/地域等：フランス/A.O.C. アルザス

葡萄品種：ゲヴェルツトラミネール 熟成：樽で約18ヶ月

品番：FD-001/JAN：4935919960014/容量：750ml

¥6,600(本体価格¥6,000)



※ヴィンテージ、価格など記載されている情報は2024年2月時点のものです。

95 / 100

ジュリアン ブレルが手掛けるリースリングの最上級ワイン



ブリュデルタル グラン クリュ リースリング 2021  
Brudertal Grand Cru Riesling

収穫は畑で丁寧に選別しながら手摘みで行います。収穫した葡萄は 10 時間をかけてゆっくりと優しく圧搾します。発酵は天然酵母により、温度コントロールしたステンレスタンクで行います。熟成も同じステンレスタンクで澱と共に約 6 ヶ月行います。個性ある塩味、ドライフラワーや様々なスパイスのニュアンスがあり、しっかりとした酸が全体を支えているのがこの畑の特徴です。非常にリッチでドライなリースリングを生まれます。ヴィンテージに関わらず、ブリュデルタルのワインは長期熟成に向いています。最初の数年間は固さがありますが、時間がたつにつれ力強さが増し、開いてきます。年月が経つに従いワインは素晴らしく発展し、15~20 年はキープする力を持っています。

★「ラルヴェュ デュ ヴァン ド フランス 673 号/2023.9」95 点



【白・辛口】 <Alc. 13.5%> 国/地域等：フランス/A.O.C. アルザス  
葡萄品種：リースリング 熟成：ステンレスタンクで、澱と共に約 6 ヶ月  
有機認証：ユーロリーフ、AB

品番：FD-113/JAN：4935919961134/容量：750ml

¥7,150(本体価格¥6,500)

Domaine Boehler



— ドメーヌ ブレル —

弊社も期待をよせるアルザスの生産者  
若きヴィニュロンが醸すナチュラルなアルザス ワイン



ドメーヌ ブレルは、アルザス北部・バ＝ラン県の首都ストラスブールから、西に約 25km 進んだ位置にあるモルスハイム村の家族経営のドメーヌです。現在は、7 代目にあたる 1992 年生まれのジュリアン ブレルがワイナリーを引き継いでいます。ジュリアンは、ディジョンの大学で葡萄、ワイン、テロワールの修士号を取得後、シャトー シュヴァルブランなど国内外のワイナリーで経験を積みました。2016 年から実家であるドメーヌ ブレルに戻り、2018 年には両親から正式に経営を引き継ぎました。同年、葡萄栽培をオーガニックへと転換し、2021VT より有機認証 (AB、ユーロリーフ) がラベルに表示可能となりました。ジュリアンは、モルスハイムのテロワールやヴィンテージの特徴を、ありのままにワインにしています。例えば、収穫については、糖度が十分に上がっていたとしても、葡萄が最大限にアロマを発揮できるように、フェノールが成熟するのを待ちます。そのため、ワインのアルコール度数が高くなる年もあります。しかし、ジュリアンは、これこそがナチュラルで、テロワールのありのままの姿を映したワイン造りだと考えています。



『ラルヴェュ デュ ヴァン ド フランス 2021.6』でも注目！

フランスの評価誌『ラルヴェュ デュ ヴァン ド フランス』の特集記事「L'ALSACE Le miracle de la diversité」では、ジュリアンが写真入りで次のように紹介されました。「29 歳のジュリアン ブレルは、モルスハイムで 8ha の畑を持つ家族のドメーヌに 2016 年に戻ってきた。ストラスブールから 25 キロ離れたモルスハイムはバガッティの町としても知られている。豊かな経験を生かし、有機栽培に転換、2021 年に承認される。畑はすべて斜面にあり、40 近い区画に分かれているため、多くの作業が必要とされる。(一部省略)」。また、「ハネンベルク リースリング 2019」が 93 点を獲得していますが、この特集に掲載されたアルザスの白ワインでは最高得点 (掲載は 60 アイテム。内 3 アイテムのみが 93 点) で、期待の若手生産者として注目されています。